

## 令和2年度事業報告

### I. 事業の状況

#### 1. 奨学事業

##### (1) 奨学生の選考及び決定

令和2年4月9日開催の選考委員会（書面決議）において、推薦を依頼した指定25大学からの奨学生候補者について審査の結果、下表のとおり、一般奨学生20名（学部6名、大学院14名）、特別研究奨学生1名の計21名を新規に採択し、理事長はこれらを第19期小林奨学生として決定し、それぞれの大学に通知した。これにより、令和2年度（第19期）の奨学生は、新規採択奨学生21名に継続の奨学生48名を合わせ、計69名となった。

内訳：

種 別		新規採択者	前年度からの継続者	計
一 般 奨 学 生	学 部	6	14	20
	大学院	14	21	35
特別研究奨学生	学 部	0	0	0
	大学院	1	13	14
計		21	48	69

##### (2) 奨学金の支給

###### ア. 奨学金贈呈式

「新型コロナウイルス」の感染状況に鑑み、令和2年6月5日に予定していた、令和2年度の贈呈式は中止とした。

###### イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学金（学部生月額15万円、大学院生月額18万円）、特別研究奨励金（月額20万円）をそれぞれ4月から1年間支給した。

##### (3) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和3年1月、奨学生の勉学の状況・成果の報告、生活状況報告を求めた。

##### (4) 令和3年度奨学事業関係

令和3年1月29日付けで、令和3年度奨学生候補者の推薦を25大学の長あて依頼した（推薦期限は3月5日）。

## 2. 交流活動事業等

### (1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員及び評議員選定委員の出席を得て次のとおり開催する予定であったが、「新型コロナウイルス」の感染状況に鑑み、全て中止とした。

なお、第3回の「第19期終了式・交流会」のうち、終了式については、終了生の参加のもと、Zoomにより実施した。

第1回 令和2年6月5日 第19期贈呈式・交流会

第2回 令和2年9月17日～18日（1泊2日の研修旅行）

第3回 令和3年3月5日 第19期終了式・交流会

### (2) 「翼」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「翼」第19号を令和3年3月31日に刊行した。

## 3. 研究支援事業

### (1) 研究助成事業

① 公募期間：令和2年9月7日～10月23日

② 令和2年12月4日開催の選考委員会（書面決議）において下記36件を採択し、理事長は、これらを研究助成受給者として決定し、各研究代表者に通知した。

No	氏名	所属機関及び職名	専門分野	研究テーマ
1	園下 将大	北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授	腫瘍生物学	抗腫がん効果を持つ天然物の作用機序解明とその治療への応用
2	矢澤 隆志	旭川医科大学 講師	生化学	漢方薬並びに植物抽出物由来の男性ホルモン作用増強物質の探索
3	仲瀬 裕志	札幌医科大学 消化器内科学講座 教授	消化器病学	炎症性腸疾患次世代医療を目指した Omics-based Japan IBD Panel の開発
4	柏木 明子	弘前大学 農学生命科学部 准教授	微生物学 実験進化学	健康長寿社会へと先導するエーテル型リン脂質の機能科学
5	河部 剛史	東北大学大学院 医学系研究科 准教授	免疫学	新たな自然免疫型 T 細胞の同定とその免疫学的意義の解明

6	森川 一也	筑波大学 医学医療系 教授	細菌学	2つの感染戦略(侵襲モードとステルスモード)を阻止できる新規物質の同定と細菌応答の解明
7	牛丸 理一郎	東京大学大学院 薬学系研究科 助教	天然物化学	新規二本鎖連結型ポリケチド天然物の生合成機構解明と超天然分子骨格の創出
8	谷上 賢瑞	東京大学 アイソトープ総合センター 特任准教授	腫瘍生物学	RNA 品質管理機構による構造異常 RNA の産生制御と癌増殖機構との関連
9	細矢 匡	東京医科歯科大学 膠原病・リウマチ 内科 助教	リウマチ専門医 内科専門医	炎症性疾患の発症・再燃を予防する新規薬剤の開発
10	綿田 裕孝	順天堂大学 代謝内分泌内科学 教授	代謝内分泌学	オートファジー活性化を介した新しい糖尿病治療薬の創出
11	北村 大介	東京理科大学 生命医科学研究所 教授	免疫学	アレルギー疾患感受性を高める IgE 自然抗体の産生メカニズムの解明
12	櫻井 雅之	東京理科大学 生命医科学研究所 講師	分子生物学 生物分子化学 核酸生物学	アデノシンからイノシン塩基への編集機構を利用した新型コロナウイルス遺伝子配列破壊による核酸創薬
13	渡部 雄一郎	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 准教授	精神医学	統合失調症の発症に大きな効果をもつ体細胞変異の同定
14	新田 淳美	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 教授	薬理学 薬物治療学	大麻依存形成メカニズムの解明およびアメリカニンジン抽出成分 Pseudoginsenoside-F11 (PF11)による依存抑制効果
15	児玉 猛	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 (和漢系) 助教	天然物化学	難治性がんを高発現しているヘム依存性二量体化蛋白質 PGRM1の阻害物質を探索し、治療薬の開発に資する
16	平山 順	公立小松大学 保健医療学部 教授	時間生物学	既知の臨床薬からの睡眠障害を緩和し得る候補薬の探索と睡眠障害のメカニズムの理解
17	小谷 真也	静岡大学学術院 農学領域 准教授	天然物化学	プロテアーゼ阻害剤の開発を志向した新規環状ペプチドの発酵生産

18	大西 利幸	静岡大学 農学部 准教授	植物化学 代謝工学	抗うつ作用を示す植物由来フェ ノール配糖体ロザビンの合成生 物学的生産システムの構築
19	菅波 孝祥	名古屋大学 環境医学研究所 教授	内分泌代謝学	植物由来フラボノイド・タキシフォリ ンによる新たな抗メタボ治療戦略 の開発
20	藤尾 正人	名古屋大学 大学院医学系研究科 助教	口腔外科 骨再生	骨組織再生過程における HMGB-1 の発現ならびに機能 解析
21	平島 一輝	岐阜大学 連合創薬医療情報 研究科 特任助教	腫瘍生物学	フキノトウ由来高活性ミトコンドリア 阻害物質の腫瘍特異的増 殖・転移阻害メカニズムの解明
22	西 英一郎	滋賀医科大学 薬理学講座 教授	薬理学 分子生物学 内科学	抗体産生の新規制御メカニズ ム解明と自己免疫性疾患にお ける意義の検討
23	蛭川 暁	京都大学大学院 理学研究科 特定助教	生物科学 生物物理学	$\alpha$ -Dystroglycan の機能的 O 型糖 鎖形成に対する N 型糖鎖のマンノー ス切除酵素の役割の解明
24	梶本 哲也	立命館大学 薬学部 教授	有機合成化学	生物活性糖類の活性発現に重 要な役割を果たす酸性糖の新 規グリコシル化反応の開発研究
25	小池 千恵子	立命館大学 薬学部 教授	薬学 神経科学	視覚再生時代に向けた変性網 膜の病的発振現象の解明と制 御解析
26	小川 英知	大阪大学 生命機能研究科 特任准教授（常勤）	分子生物学 細胞生物学	細胞内異物排除機構を活用し た新規抗ウイルス薬の開発と高 効率な核酸医薬導入法の構築
27	今野 雅允	大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座講師	メカノバイオ ロジー	がん幹細胞を標的とした新しい マイクロ RNA 創薬の展開
28	徳永 文稔	大阪市立大学 大学院医学研究科 教授	病態医化学	直鎖状ユビキチン鎖を標的とし た炎症・免疫シグナル制御と皮 膚疾患
29	森 康子	神戸大学大学院 医学系研究科附属 感染症センター 教授	ウイルス学 ワクチン学	新型コロナウイルス感染症に対 して有効なヒト中和抗体の作製 と抗体医薬品への応用

30	高橋 晴美	神戸大学大学院 医学研究科 特命准教授	代謝内分泌学	新規作用機序を有するインスリン分泌促進薬の開発
31	原 哲也	神戸薬科大学 准教授	血管生物学 生体イメージング	生体血栓イメージングと未治療心筋梗塞サンプルによる血栓器質化、リモデリング機構の解明
32	中平 毅一	奈良県立医科大学 薬理学講座 准教授	薬理学 免疫学 集中治療学	ミトコンドリア：新規コロナウイルス感染症 COVID-19 における新たな治療ターゲット
33	黄 鵬	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 研究准教授	泌尿器科 悪性腫瘍 分子イメージング	癌免疫活性化、REIC タンパク質、分子イメージング、癌治療
34	上番増 喬	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 助教	栄養学	出生前・後のメチル基供与食摂取が DNA メチル化と食物アレルギー発症に及ぼす影響の解析
35	松尾 直毅	九州大学大学院 理学研究院 教授	神経科学 分子生物学	記憶の獲得と想起の神経基盤の解明
36	佐藤 貴弘	久留米大学 分子生命科学研究所 准教授	内分泌代謝学 生理学	良質な睡眠を実現する漢方薬および生薬の探索

(2) 顕彰事業（第2回小林賞）

①公募期間：令和2年7月21日～9月18日

②令和2年12月11日開催の小林賞選考委員会において、日本分子生物学会理事長から推薦のあった、大阪大学大学院生命機能研究科教授の近藤 滋氏を受賞候補者として選定、理事会は、同氏を「第2回小林賞受賞者」として決定し、推薦者及び受賞者に通知した。

## II. 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年4月28日 (決議の省略)	1. 令和2年度(第19期)奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和2年6月5日 (決議の省略)	1. 令和元年度事業報告及び収支決算について	全会一致で承認・可決
	2. 職務執行状況の報告について(報告)	
令和2年6月17日 (決議の省略)	1. 定款の一部変更について	全会一致で承認・可決
	2. 評議員会における決議の省略について	全会一致で承認・可決
令和2年12月22日 (決議の省略)	1. 第9回(令和2年度)研究助成の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年1月21日 (決議の省略)	1. 第2回小林賞受賞者の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年1月27日 (決議の省略)	1. 令和2年度臨時評議員会の開催及び招集について	全会一致で承認・可決
令和3年3月12日 (決議の省略)	1. 令和3年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 医学部生育成支援プログラム選考委員会規程の制定及び選考委員の選任について	全会一致で承認・可決
	3. 株主権の議決権行使について	全会一致で承認・可決
	4. 令和3年度定時評議員会の開催について	全会一致で承認・可決
	5. 職務執行状況の報告について(報告)	

#### (2) 評議員会

令和2年6月12日 (決議の省略)	1. 令和元年度事業報告について(報告)	
	2. 令和元年度決算の承認について	全会一致で承認・可決
	3. 評議員候補者の推薦について	全会一致で承認・可決
令和2年6月24日 (決議の省略)	1. 定款の一部変更について	全会一致で承認・可決
令和3年3月12日 (決議の省略)	1. 令和3年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 医学部生育成支援プログラム選考委員会規程の制定及び選考委員の選任について(報告)	
	3. 株主権の議決権行使について(報告)	
	4. 令和3年度定時評議員会の開催について(報告)	
	5. 職務執行状況の報告について(報告)	

(3)選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 2 年 4 月 9 日 (書面決議)	令和 2 年度奨学生の選考 (申請者数：一般奨学生 30 名、特別研究 奨学生 2 名)	書類審査により、一般 奨学生 20 名、特別研 究奨学生 1 名の計 21 名を新規に選考
令和 2 年 12 月 4 日 (書面決議)	令和 2 年度研究助成の選考 (申請件数：79 件)	書類審査により、新規 36 件を選考
令和 2 年 12 月 11 日	「第 2 回小林賞」の選考 (申請件数：16 件)	書類審査により、国立 大学法人大阪大学大 学院生命機能研究科 教授の近藤 滋 氏を 選考